



2022-2023 週報

西脇ロータリークラブ 2680地区



No.28 第2764回 令和5年2月27日

今週の歌: それでこそロータリー

プログラム

「60周年記念について」

担当: 60周年実行委員会

会長 大西義文 幹事 村上康憲
 例会日 月曜日 12:30-13:30
 例会場 西脇ロイヤルホテル 2F Tel: 0795(23)2000
 事務局 西脇商工会議所内
 〒677-0015 西脇市西脇 990
 Tel: 0795(22)3901 Fax: 0795(22)8739

RIテーマ: イマジン ロータリー ~IMAGINE ROTARY~

表彰

和田良勝会員
 米山功労者マルチプル



RLI研修修了証

赤井浩起会員

2月13日(月) 第2763 例会記録

◎出席・・・会員数 47 名 (出席免除会員 10 名)
 出席 38 名 欠席 10 名

会長の時間

大西義文会長



2月18日(土)、西脇商工会議所で、会議所青年部主催の講演会がありましたので、参加しました。講師は小林祐梨子氏、演題は「人との絆に込めた想い」でした。余談ですが、当クラブの村上幹事が青年部会長ですが、立派なあいさつをされておりました。講師の小林氏は小野市出身で、北京オリンピック、世界陸上に出場され、全国高校女子駅伝の時には20人抜きの大偉業を成し遂げられました。現在は東京オリンピックやNHK女子駅伝のスポーツコメンテーターやゲスト解説者として活躍されています。そんな彼女から高校駅伝を通じてチームワーク(応援からサポート)を含め、チームメイトの為に1つにまとまる力、まとめようとする力を教えていただきました。チームメイトが優勝テープを切った時のポーズは、左手で2本の指、右手で5本の指、これは25人の結束力を意味していました。感激の瞬間でした。夢に向かっていると、悔しい気持ちにもなることもあります。これを体験するのは皆同じです。しかし、ポジティブにとらえ笑って前を向いて過ごせるようになったのは、回りの方々の支

えがあったからこそだと思います。ありがたいの心、ありがたいの感謝しかない! こんなお話でした。

さて、本日、午後7時から、新会員セミナーが開催されます。このセミナーは笹倉委員長が年度初めに事業計画として掲げられていたもので、会員維持増強委員会主催で、講師の先生をお招きして開催されます。当クラブとしては初めての試みですので、実りのあるセミナーとなりますよう、よろしくお願いいたします。

幹事報告

(来 信)

○ガバナー事務所より、2023年トルコ・シリア地震支援ご協力をお願い

※募金箱を回しますので、ご協力お願いします。

○米山記念奨学会より、ハイライトよねやま

(報 告)

- ・各テーブルに東播第3グループゴルフ大会の申込書をお配りしていますので、ご参加いただける方は氏名をご記入ください。多数のご参加をお願いします。
- ・先週に引き続き、60周年記念式典・祝賀会の出欠表をお配りしておりますので、まだ記入していただいていない方はよろしくお願いいたします。

委員会報告

○会員維持増強委員会

笹倉照暉委員長

本日19時より、新会員セミナーを開催いたします。参加者は、入会3年未満の会員・会長・幹事・SAA・出席委員会・会員維持増強委員会のメンバーです。講師として、高瀬英夫会員、永谷敏会員にお願いしております。よろしくお願いいたします。また、次週の例会で推薦者バッジ授与を行います。対象者は齋藤会員、矢

納会員、蘆田会員と私です。なお、バッジの準備等で遅くなりましたことをお詫び申し上げます。

○60周年講演会部会 西山孝彦副会長

皆さんのお手元に60周年講演会のポスターをお配りしておりますので、目立つ場所に貼っていただけたらと思います。また、講演会の出欠表をお配りしております。チケットは会員に1枚と会員以外に2枚お渡しできますので、希望枚数をご記入ください、よろしくお願いいたします。



井村会員 先日は吉田康志会員にお世話になり、ありがとうございました。

数原会員 小3・小1の娘2人共、水泳の個人メドレーが泳げるようになりました。

※本日のニコニコ	3,000円
誕生日・結婚記念日・連続出席	10,000円
トルコ・シリア地震義援金	46,385円
※本年度累計額(2/20現在)	974,000円

🌸 本日の花：ピンポン玉・スイートピー

プログラム

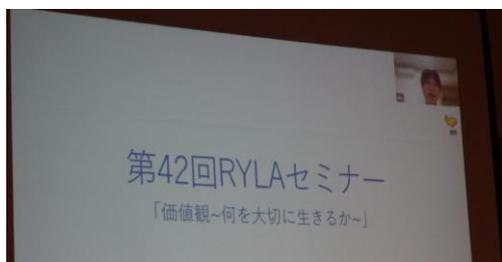
※2021-22年度、当クラブがスポンサーとなって、第42回RYLAセミナーを受講された阿部風花さんの報告です。本来は例会に出席して報告していただくのですが、コロナ禍ということと、学生のため、時間がとれないため例会出席が叶いませんでした。本日は阿部さんが作成された動画を視聴していただきます。よろしくお願いいたします。

「第42回RYLAセミナー報告」

2021-22年度

第42回RYLAセミナー受講者

阿部風花さん



【動画】

皆さんこんにちは、阿部風花です。この度は第42回RYLAセミナーを受講生としてご推薦いただきありがとうございました。本来であれば、例会場にお伺いして報告させていただかなくてはならないにもかかわらず、学生ということと授業の都合で、時間と交通手段を確保するのが難しいため、大変申し訳ございませんが、このような形でご報告させていただきます。

す。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

第42回RYLAセミナーのテーマは、「価値観~何を大切に生きるか~」ということで、様々な「価値観」について考えてきました。

はじめに、簡単ですが自己紹介をさせていただきます。私の名前は阿部風花です。2002年4月11日生まれで、兵庫県姫路市出身です。今は関西学院大学の理学部化学科の2回生です。私は「置かれた場所で咲く」ことを大切にしている、今回はそれが非常に役に立ちました。

RYLAセミナーとは「リーダーのリーダーを育成するためのプログラム」で、4つの特徴を持っています。特徴の一つ目、このプログラムのメインイベント、フォーラムディスカッションをはじめ、初対面の受講生とたくさん議論し合います。初対面の人と話すとき、初めから自分を前面に出して本音で話す人はあまりいないと思います。しかし、フォーラムディスカッションで一つのお題と向き合い続けた仲間とは、たったの3日で自然と信頼関係が芽生えました。

特徴の二つ目、「受講生」についてですが、参加者は全員20歳以上で一人の大人として扱われ、自主性や自由が最大限尊重されます。私は今年の4月に20歳になったのでRYLAセミナーに参加した時は20歳になってまだ一カ月程度しか経っておらず、学生の間は大人として扱われていることを実感する機会はあまりありませんでした。こんな未熟な自分が大人として扱われるということが3泊4日間のRYLAセミナーで最も不安なことでしたが、班の全員が社会人だったということもあり、自分なりに成長できた部分が大きかったと感じています。

特徴の三つ目、受講生を支え、導いて下さるカウンセラーの方が二名ついて下さります。フォーラムディスカッションで行き詰った時などにヒントやアドバイスをいただいたりしました。

特徴の四つ目、大学で受けるような講義が四つありました。これについては後で少し紹介いたします。少し長くなってしまいましたが、これら四つがRYLAセミナーの特徴です。

では、RYLAセミナーのメインイベントのフォーラムディスカッションについて詳しくお話をさせていただきます。フォーラムテーマは「優しさだけがリーダーの条件か?」、そして、「はしのうえのおおかみ」という絵本から読み取れる、「リーダーの条件に足りないもの」、「リーダーの条件の矛盾点」をあげてリーダー像を考えることです。

ここで少し、「はしのうえのおおかみ」のあらすじ

をお伝えします。山奥に、ひとりしか渡れない一本橋がありました。おおかみは、ウサギやキツネなどの小動物には威張って橋から追い返していましたが、クマには遜って橋を譲ろうとしました。するとくまは、おおかみを持ち上げて後ろにおろしました。次の日から、おおかみは強くて優しいクマを見習って、小動物を持ち上げて後ろにおろすようになりました。乱暴なおおかみが優しいおおかみになったことは森じゅうに広まり、平和な森になりました。というおはなしです。

話し合いは基本的に 10 人の班を三つのグループに分けてバズセッションをしました。メンバーを変えて何度も意見を出し合いました。最初のバズセッションはリーダーとはどのようなものか、ということについて考えるところから始まりました。話し合いの結果「一人ひとりに寄り添う、話を聞いてくれる、意見をくみ取ってくれる、協力的、ときに厳しくしかって成長の機会を与えてくれる、周りをよく見れる」という意見が出ました。しかしこれらはすべて相手を想ってないといけないことなので、大きくまとめて「優しさ」と言えるのではないかと考えて、最初のバズセッションは優しさがリーダーの条件だとしました。この意見を班に持ち帰って発表し、さらに話し合いを重ねていると、生き物は「優しさ」は持って生まれてくるのになぜリーダーになれない人がいるのか、という問題が出てきました。そこで、はしのおおかみで比較して考えました。まず、熊がリーダーとします。熊は周りをよく見ておおかみに成長の機会を与えましたが、クマ自身は一本橋を渡ることになにも問題を抱えていなかったもので、例えばみんなで渡れる大きな橋を作る、などの問題解決への提案や発信をしているシーンはありませんでした。また、小動物からおおかみに関する相談を受けているようなシーンもありませんでした。リーダーは優しさに加えて発信力や先導力がなど、統率力が必要だという意見が出ました。次に、おおかみをリーダーとします。おおかみは優しくされると気持ちがいいからみんなに優しくして自分を変えました。自分を変えようと努力した「行動力」はリーダーにふさわしいのではないかと意見が出ました。また、小動物には威張っているのに対して熊には遜っていて、これを良いように解釈すると、協調性がある、と言えるという声がありました。しかし、熊に優しさを教えてもらってからは全ての相手に同じ対応をするようになってしまい、相手に応じて行動するということができませんでした。絵本の熊やおおかみを参考に、改

めてリーダーとはどのようなものか考えました。この人になら意見を言ってもちゃんと伝わる、拾ってくれる、という信頼や優しさ、広い視野で現状を把握して軌道修正をする統率力、的確な判断ができ、時には自分を変えるための成長をし続けようとする行動力がリーダーに必要なのではないかと結論に至りました。それに加えて、これは自分の班の意見ではなかったのですが、チームみんなの意見を聞きながら目的までのビジョンを見つめて、チームに合った目標を作る先駆けになったりする協調性のある人がリーダーに向いているのではないかと考えました。

ここで一旦はしのおおかみを題材としたテーマは終了し、次にフォーラムリーダーから別のセッションテーマが発表されました。その題材が「危ない橋を渡る理由」ということで、「自分の目の前で今にも壊れそうな危ないつり橋を渡ろうとする人を見かけて、腕をつかんで渡らせないようにした。この行為は正当か不当か。」ということについて考えました。班としては、目の前の人を橋を渡る権利も、わたしがそれを止める権利もあるけれど、自殺する権利やそれを止める権利もあるのではないかと意見がでました。しかし、自殺だけは、死んでしまったらもとは戻すことができないということから、自殺は止める権利ではなく、止める義務があるということを学びました。この題材のほかに、おかしな趣味の教授というテーマ、その次におせっかいな教授というテーマ、そしてはた迷惑なバスの乗客というテーマに沿って班で話し合いをしました。あとの3つのテーマについて班でどういった意見が出たかは、時間の都合上省略させていただきます。

次に後で紹介すると言っていた講義についても少しだけお話をさせていただきたいと思います。四つの講義の中で、RYLA セミナーが終わってからも日常生活で役に立っている講義が二つあります。まず関西大学のアレック・ベネット教授による【武士道における「人間形成とは」】という講義です。この講義で、物事の考え方や、どう生きるのか、さらには、価値観は時間の経過と共に変化することがあることを学びました。

次に、株式会社 Silent Voice 代表取締役の尾中友哉さんによる「自分の価値観を読み取る」という講義です。ろうのご両親をもつ尾中さん自身の体験をもとに根、幹、実に分けて、価値観や物事の考え方について学びました。わかって、伝えようとすることや、コミュニケーションや人間関係をあきらめないことに価値がある、そしてそれが誰一人取り残さない社会を作るこ

とに繋がり、SDGs に大きく貢献できるということ
を学びました。これらの講義の共通点は、人はみな異
なる「価値観」をもっている、ということです。誰一
人取り残さない社会を目指すためには、これからを
担う私たち一人ひとりが価値観の違いや多様性を受
け入れていかなければならないと思いました。

二つの講義の後、講義で学んだことをもとに自分
と向き合う「思索の時間」が一時間ありました。私は
その時ちょうど悩んでいた学校の友達とのことにつ
いて思索してきました。もちろん一時間で結論など
出せるわけもなく、RYLA セミナーが終わってか
らしばらくは悩んで苦しむ日々を過ごしていました。
そんな時、悩んでいた相手と価値観の違いから衝突
してしまいました。私は、価値観の違いは考え方や物
の捉え方や幸福度などが違うのと同じだから対立が
起きたり、傷つく人が出てきたりしてしまう、言い出
したらキリがない、しょうがない、と思っていたので
すが、それを分かっているもやはり価値観の違いと
いうものは受け入れることが難しく、お互いを傷つ
け合いました。でも今までの自分とは違ってライラ
セミナーで価値観について真剣に考えていたので、
「価値観が違う、こういう考え方の人もいる」と受け
入れる準備ができていたのかもしれない。自分で
も驚くほどすぐ仲直りすることができました。この
瞬間が一番自分の成長を感じました。

RYLA セミナーで価値観について考え、実際に学
校でトラブルがあったことで、意見が食い違ったり
人間関係の壁にぶち当たったりした時には、価値観
の違い、とこれまでよりも多くのタイプの人を受け
入れ、協調性をもつことができるようになりました。
そのおかげで、これまでの自分だったら巻き込まれ
ていたような友人同士のトラブルからも身を守ること
ができました。また、日々の生活で私たちの目には
見えないけれど何か障害があったりして立ち止まっ
ている人がいたら、その人を邪魔だとは思わずに、何
か原因があって立ち止まってしまったのではないか、
何か手伝えることはないだろうか、と多様性を考える
ことができるようになりました。

そして、RYLA セミナーが終わって3カ月が経ち、よ
うやく思索の時間の結論を出すことができたように
思います。

私は、自己紹介でお伝えした通り、置かれた場所で
咲くことができます。どんな状況であっても自分な

りにその場を楽しんで自分のものにして、その経験
を次に繋げて成長しようと努力することができます。
RYLA セミナーを受ける前も受講中も日常生活に戻
っても、置かれた場所で咲くことは常に意識してい
ました。RYLA セミナーで価値観や協調性や多様性
の重要性を学び、置かれた場所で咲くためにはそれ
らを受け入れる必要があったことに気づきました。
つまり、RYLA セミナーが終わってすぐに日常生活
に価値観や協調性や多様性に対する考えを取り入れ
ることができたのは、常に置かれた場所で咲こうと
意識することで価値観や協調性や多様性を少しでも
考えることができていたからだと思います。

まとめますと、このプログラムはリーダーのリー
ダーを育成するためのプログラムで、リーダーに必
要なのは優しさ、統率力、行動力、そして協調性で
す。これからを担う私たち一人ひとりが4つのリー
ダースキルや多様性を受け入れることで、誰一人取
り残さない社会を作ることができ、SDGs に貢献で
きるのではないかと考えました。もしこれからもよ
り良い関係を築いていたいと思う人がいるのであれ
ば、協調性を持ち続けることが必要だということ
を学びました。3泊4日間学生ではなく社会人の方々
と過ごしたことで、社会で必要とされる一人前の人
間になるにはリーダースキルを持っている、または
持ちたいと思いつけることが大切なのではないかと
感じました。

大学生は社会に出る準備期間です。大学生でいら
れるのはあと二年半しかありませんが、RYLA セミ
ナーで学んだことを最大限に活用し、よりよい社会
人になれるように努力して参りたいと思います。

この度は貴重な経験をさせていただき、ありがと
うございました。

地区大会のお知らせ

- | | |
|--------------|---------------|
| 3/4(土)14:00～ | 会長・幹事会 |
| 14:30～ | ロータリーファミリーの集い |
| 14:50～ | 地区指導者育成セミナー |
| 17:30～ | RI 会長代理歓迎晩さん会 |
| 3/5(日)9:40～ | オープニングアトラクション |
| 10:00～ | 本会議 |
| 13:30～ | 記念講演 講師：有本 香氏 |
| 17:00～ | 会員家族懇親会 |

今後のプログラム

3月6日(月) 担当：ロータリー財団委員会
3月20日(月) 担当：米山記念奨学会委員会

3月13日(月) 担当：雑誌広報委員会
3月27日(月) 担当：ロータリー情報委員会

大西会長のテーマ：「ありがとう」の感謝！ Enjoy Rotary Life